

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第32週（令和7年8月4日～令和7年8月10日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

麻しんの報告が1件（累積報告数4件）ありました。麻しんは、麻しんウイルスによる感染症で、空気感染、飛まつ感染、接触感染で人から人へ感染し、その感染力は非常に強いと言われています。感染すると、約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。発熱、咳、発しん、鼻水、目の充血など麻しんに特徴的な症状が現れた場合は、医療機関に電話で連絡し、指示に従って受診してください。その際に、症状出現日の10～12日前（感染したと推定される日）の行動（海外の流行地や人が多く集まる場所へ行ったか等）について、医療機関にお伝えください。麻しんの予防には、ワクチン接種が有効です。詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	19	457	240	8,168
細菌性赤痢	1	1	1	30
腸管出血性大腸菌感染症	14	135	205	1,718
デング熱	1	7	3	86
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	54	14	781
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	47	16	894
水痘（入院例）	1	22	5	411
梅毒	12	466	180	8,252
百日咳	91	2,428	3,599	60,826
麻しん	1	4	4	196

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル（※）

：注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	833	6.83	0.93	21,365	5.53
インフルエンザ	39	0.32	0.85	1,153	0.30
急性呼吸器感染症	5,343	43.80	0.90	202,888	52.82
RSウイルス感染症	120	1.71	0.98	1,629	0.69
咽頭結膜熱	43	0.61	1.02	1,041	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	162	2.31	0.95	4,221	1.79
感染性胃腸炎	385	5.50	0.93	11,236	4.77
水痘	27	0.39	1.04	722	0.31
手足口病	26	0.37	0.93	1,474	0.63
伝染性紅斑（警報レベル）	224	3.20	0.93	4,583	1.95
突発性発しん	29	0.41	0.85	795	0.34
ヘルパンギーナ	27	0.39	0.53	4,517	1.92
流行性耳下腺炎	4	0.06	1.00	104	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	9	0.01
流行性角結膜炎	8	0.31	0.57	630	0.90
細菌性髄膜炎	2	0.13	－	12	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	41	0.09
マイコプラズマ肺炎	11	0.73	0.92	478	0.99
クラミジア肺炎	0	0.00	－	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	1	0.00

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。